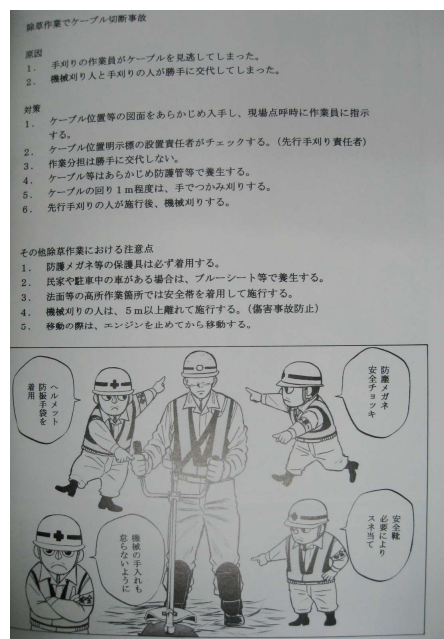


発刊にあたって



「事故の記憶を風化させてはならない」

我々が携わる鉄道工事は、安全施工が最優先であり、お客様の命、あるいは共に働く仲間の命を守ること、そして安定輸送の支障とならないことが責務となっています。命や安定輸送に関わる事故やトラブルを発生させないためには、何よりも「ルール遵守」が求められます。ルールを逸脱することや、軽く考え勝手に応用動作等を行うことは、絶対に行ってはいけません。現在のルールが定められた背景には、過去の事故の歴史があります。

過去の事故を知り、何故こうしたルールが作られたのかを理解する事は、「ルール遵守」の重要性を理解する上で、あるいは「自ら考える安全」という観点から、その安全意識を高める上で非常に大切なことです。

また、時の経過とともに働く仲間に入れ替わっていきます。新たに入社する人がいる一方で、定年等で去る人もいます。そうすると事故の記憶は薄れ、組織としての安全に対する意識の低下が起こるようになります。過去に起こした事故と同種の事故を、起こしかねない状況となるのです。そうならないためには、事故の記憶を風化させてはなりません。

これらの目的のために、本書は作成されました。弊社の今野軌道工事部次長にシナリオを書いてもらい、漫画家 関達也さんに作画をお願いしました。お二人の努力のおかげで、非常にわかりやすいものができたと思っています。今後、この本を高幸建設の軌道工事における必読資料として、事故の記憶の風化を防ぎ、日々安全に作業することに役立てていきたいと思っています。

この本の発刊には多くの方々のご指導とご協力を頂きました。「横取り装置取付時の貨物列車衝撃」の事故以降、ユニオン建設様の皆さまのご指導、特に当時JRより安全推進部に出向されていた嘉嶋崇志部長代理のもと、様々な取り組みを新たに開始しました。菅原興業さんや維新建設さんの安全に対する取り組みを見せて頂いたことも、刺激となりました。この本の作成はその取り組みの一環です。ユニオン建設(株)安全推進部様及び嘉嶋様には、最終稿作成にあたって監修並びにアドバイス頂きました。また、広告代理店の橋淳一氏・信夫奈緒子女史の協力無しには、本企画は実行できませんでした。改めて皆さまに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

平成23年8月
高幸建設株式会社
代表取締役 岡川 直